

クラブだより

湯の町有馬湯山会の活動報告

北区
有馬湯山会

蔵谷 守



有馬湯山会は、六甲山の麓にある名湯・有馬温泉の町内に居住する高齢者の親睦を図るとともに健全かつ豊かな生活を実現することを目的として発足しました。令和6年度で50周年を迎え現在、会員は80名を数えています。本年4月には50周年記念

総会を開催し続く懇親会では北区および有馬町関係者の来賓を賜りました。私見ですが、これは神戸市や「ふれあいのまちづくり協議会」などとの連携の象徴かと考えています。会員間の親睦活動としては、コロナ感染症の規制緩和の昨秋に「丹波篠山の味覚松茸と紅葉狩り」と銘打ちバス旅行を行いました。「味覚松茸」の方は概ね好評でしたが、「紅葉狩り」はあいにく時季を逸し静寂な山寺見物となりました。ただし、ビールと清酒の工場見学が好評で、おかげで楽しい親睦旅行となりました。会員の健康増進活動としては、各団体が主催する競技会

に積極的に参加し、ポウリング大会など優秀な成績を収めています。また、北区老連主催のウォークツアーにも参加し、今春行われた飛鳥路コースでも健脚ぶりを示しています。今後、多数の会員がウォーキングや体操など持続的に活動できる環境づくりを考えています。高齢者対策としては、有馬町も一人暮らしの高齢者が増えるその見守りを月2回程度、年間にして延べ400名程度を実施しています。その他、猛暑時に



紅葉狩り



町内の道路清掃

致命的になりかねない熱中症に對し、町内の「ゆけむり診療所」のアドバイスを

推奨したポスターを配布しました。地域貢献としては、有馬小学校の「ふれあい合同運動会」で小学生と住民が一緒になって競技する「玉入れ」を毎年実施しています。また、地域福祉センターの管理のほか、年末の大掃除も行っています。その他、定期的に町内道路のポイ捨てゴミの掃除も実施しその際、湯山会のアピールも兼ねてオレンジ色のユニフォームで頑張っています。

権現桜寿会
渡辺 貞夫

また趣味別クラブにはグラウンドゴルフがあり一昨年度区老連の大会で団体優勝した絆の強いチームです。他に健康麻雀やカラオケを東須磨地域福祉センターで実施しています。初心者者をベテランが優しく指導しワイワイ・ガヤガヤと盛り上がっています。またこの度、権現桜寿会も須磨シニアクラブ主催の第1回福祉友愛のつどいに参画しました。場所も権現桜寿会のホームグラウンドの東須磨地域福祉センターで、7月7日(日)に開催されました。参加者に年齢制限がなかったのですがシニアが大半でした。この日は天気が良くとにかく暑い日でした。その中、坂を登って多くの方々に参加して



オカリナ演奏



突然死講演会

いたいただき感謝の気持ちでいっぱいです。最初の講演の凌駕院長の「突然死」のお話には全員が集中して聞きました。また多くの質問が出て先生の回答に大満足でした。次のあんしんすこやかセンターの方のお話は日頃聞いている方も多く、リラックスしながら聞きました。休憩を挟んでオカリナ演奏でしたが2人のオカリナ奏者のアンサンブルが素晴らしく聞き惚れる出来栄でした。そのオカリナに合わせて懐かしい曲を合唱しました。最後の催しは神戸大学落語研究会の方による「代脈」「子ほめ」の2つの演目を楽しみました。よく通る声で古典落語に挑戦し会場を笑わせてくれました。

アンケート結果でも高い評価をいただき本当に嬉しく思いました。現在、権現桜寿会も会員が増えない状況です。長い歴史を絶やすことのないように日々仲間と楽しく明るく活動を展開し会員を増やしたいと思います。

様々な行事に参加

灘区

第五岩屋ときわ会

中野 都志江

4月18日(木)神戸市老連長寿祭ゲートボール大会がしあわせの村で開催された。

◆優勝 岩屋ときわ会チーム
◆2位 大石松寿会チーム

灘区から2チームが全国大会へ出場が決定。今年は10月19日(土)から4日間、鳥取県で開催予定。大石松寿会とは日頃から練習



交流深めるゲートボール

試合をしているので仲間と一緒に行けるのはとても嬉しい。

5月13日(月)、区老連主催の飛鳥の里ウォークツアーに参加。前日までの天気はどこへやら。一日中雨、雨、雨。誰かが田んぼの畔道で青蛙を見つけ「カエルの歌」が飛び出し皆で歌いだす。



飛鳥の里ウォークツアー

「かたつむり」を見つけてまた歌いだし、水溜まりをさげながら川原寺跡の所まで行ったがここで3分の2の人が離脱。迎えるバスで昼食処まで連れて行っても

らい早い昼食。他愛のないおしゃべりで時間をつぶし、家路に着くころには雨も上がり今日のような雨の日もまた楽しかった。5月17日(金)から9日間、神戸市で世界パラ陸上が開催された。世界各国からパラアスリート達が集い、熱い戦いが繰り広げられた。私たちは走り幅跳び、やり投げ、砲丸投げ、車椅子400m走を見る。1cmでも前への戦い。見応え多い1日。グラウンドの見物人の多くは学生。夕方には手が痛くなるほどの拍手で楽しかった。

第1回福祉友愛のつどいに参画して

須磨区

権現桜寿会

渡辺 貞夫

権現桜寿会は昭和54年9月に発足し45年の歴史をもつクラブです。現在の会員数は65名で平均年齢は81歳です。活動は年6回の会(誕生会、長寿の会等)を実施しています。

また趣味別クラブにはグラウンドゴルフがあり一昨年度区老連の大会で団体優勝した絆の強いチームです。他に健康麻雀やカラオケを東須磨地域福祉センターで実施しています。初心者者をベテランが優しく指導しワイワイ・ガヤガヤと盛り上がっています。またこの度、権現桜寿会も須磨シニアクラブ主催の第1回福祉友愛のつどいに参画しました。場所も権現桜寿会のホームグラウンドの東須磨地域福祉センターで、7月7日(日)に開催されました。参加者に年齢制限がなかったのですがシニアが大半でした。この日は天気が良くとにかく暑い日でした。その中、坂を登って多くの方々に参加して

いたいただき感謝の気持ちでいっぱいです。最初の講演の凌駕院長の「突然死」のお話には全員が集中して聞きました。また多くの質問が出て先生の回答に大満足でした。次のあんしんすこやかセンターの方のお話は日頃聞いている方も多く、リラックスしながら聞きました。休憩を挟んでオカリナ演奏でしたが2人のオカリナ奏者のアンサンブルが素晴らしく聞き惚れる出来栄でした。そのオカリナに合わせて懐かしい曲を合唱しました。最後の催しは神戸大学落語研究会の方による「代脈」「子ほめ」の2つの演目を楽しみました。よく通る声で古典落語に挑戦し会場を笑わせてくれました。